



駒中だより

こころざしの高い生徒
ま 学び続ける生徒
が 我慢できる生徒
た 他を思いやる生徒

台東区立駒形中学校 令和4年12月5日発行

1年の締めくくりにあたり・・・

副校長 椿 一夫

12月になりました。今年1年間の総括と来年に向けた準備をしていく時期となりました。私にとっては、4月に転任、学校の規模も学校周辺の様子もガラリと変わり新鮮な気持ちで駒形中学校にきたことを思い出します。

さて先月に、本校にテレビの取材が入りました。柔道に特化した番組で、本校での柔道の授業の様子を撮影しました。テレビ番組がどのように制作されていくのかを近くで見ることができたことも大変興味深いことでしたが、同時に柔道についても少し勉強できたことがありました。柔道は日本の国技の一つであると考えていましたし、とても礼儀を重んじるスポーツであるということと言うまでもないかと思います。今回の撮影を通して改めて柔道の基本精神というものを知ることができました。

柔道の根本主義は、精力の最善活動である。いい換えれば、善を目的として精力を最も有効に働かせることである。それでは、善は何かというに、団体生活の存続発展を助くるものは善である。

この団体生活または、相助相譲・自他共栄によって達成されるものであるから相助相譲・自他共栄もまた善である。これが柔道の根本義である。

団体生活における自他共栄という言葉に特に感銘を受けました。自己の栄えのみを目的とせず、助け合い、譲り合い融和協調して、共に栄えることを目指す。柔道の技は相手との関係でなされるものであり、その稽古は相手があって成立する。相手は自分の技を高めしてくれる大切な存在であり、互いに助け合い、感謝し、敬意を払うべき存在である。

思えば、私が教員になってから長年携わってきたバスケットボールでも、試合の成立のためには、自チームと対戦するチーム、そして審判、試合をするコートがすべて必要であるとルールに書かれています。つまり仲間と対戦相手、そして審判の方々や試合会場を準備する方々そのすべてに感謝して試合に臨むことが大切であると、先輩教員に教わり、また、関わってきた選手生徒に伝えてきたものです。

1年の締めくくりにあたり、私にとっても気持ちを改める良い機会をいただけたと思いました。

＜合唱コンクール＞ 11月5日（土）

本校では3年ぶりに行われた行事でした。準備期間が短く、また、経験したことのある生徒がいない中でしたが、各クラスが団結して合唱を披露する姿は開催できてよかったと感じさせるものでした。



＜BSフジ「JUDO」放送予定＞

体育科の柔道の授業の様子を撮影した番組は、BSフジで放映されます。

番組名：「JUDO～柔道に魅せられた人たちの物語～」

放送局：BSフジ 朝 9:30～10:00 放送日：12月17日（土）

＜生徒の活躍＞

○男子バスケットボール部 区中学校バスケットボール新人大会 優勝

→都新人大会出場校決定戦 第53地区（台東区・中央区）大会に進出

＜12月・1月の予定＞※追加・変更の場合もあります。

12月（師走）	1月（睦月）
1日（木）生徒会専門委員会 安全指導 保育実習（3年学級ごと・～5日）	7日（土）冬季休業日 終
2日（金）三者面談始	9日（月）成人の日（休日）
3日（土）土曜授業 立志式	10日（火）3学期始業式
9日（金）三者面談終（1・2年）	11日（水）台教研 安全指導
12日（月）三者面談終（3年） 避難訓練	12日（木）生徒会専門委員会
21日（水）職員会議	13日（金）喫煙受動喫煙防止教育（2年）
23日（金）終業式	18日（水）職員会議 避難訓練
26日（月）冬季休業日 始	21日（土）土曜授業 学習展覧会
	25日（水）職員会議
	31日（火）区音楽鑑賞教室（2年）

